

2020 年 7.8 月 研修医 H.T.

内視鏡を上手になりたい、将来消化器内科に行くのだからしっかりと消化器病院で研修したい。そんな思いから多少無理を言って 2 か月研修させて頂きました。受け入れて下さり大変感謝しております。

内視鏡はこの 2 か月で 90 件ほど経験させて頂きました。金子先生や山田先生、特に大野先生には大変お世話になりました。少しでも上手くなってやろうと盗めそうな技術はこっそり盗めるだけ盗み、自分がやる時はその技術をこっそり試してみながら、こうすれば上手くいく、こうすれば上手くいかないと試行錯誤しながら自分なりのやり方を見つける事ができました。研修医の身分でありながらここまでどっぷりと消化器に浸り症例を重ねられた事は将来への自信になりました。患者を苦しめず、素早く挿入し、出来るだけ正確に診断し、深達度評価もこなせるような最高の内視鏡専門医を目指して今後も研鑽を積んでいきたいと思っています。(欲を言えば ESD の専門家にもなりたいです)

内視鏡室のスタッフの皆さん（特に吉田さん、茂木さん、高橋さん）大変お世話になりました。

この 2 か月はあっという間でした。まず 7 月は愉快的同期に恵まれ毎日ワイワイ言いながら過ごしました。気さくな奴ばかりで人間的に良い奴しかいませんでした。青木君は頑固なところもありますが真面目で治療方針の話で良く話が合いました。井上君はムードメーカーでマスコットキャラクター的な可愛さがたまりませんでした。渥美は学生の頃から全く何も変わっていませんでした。みんな今後どんな医者になるのか楽しみで、いつかまた会う日を楽しみにしています。

8 月はひたすら電話に出て院内を走り回っていた気がします。途中から頭がおかしくなって、みんな僕と電話したいだけなんじゃないかとすら思いました。何か困ったらすぐ連絡くださいとか何なら自分やりますよとか言いすぎた僕にも問題ありますが・・・。

でも忙しかったかわりにありとあらゆる症例を独り占めできました。病院にいる間は何かしら手技をやらせてもらいましたし、様々な病気の治療方針を決めるためにガイドラインを何冊も読み UpToDate や Pubmed で文献を漁りました。大学では抄読会のために英語論文をやらされて読んでいましたが自分から積極的に読んだのは久しぶりでした。

毎日患者の顔を見に行って治療方針を考え、家族に数日に 1 回電話して治療経過を説明し、退院後どうしていくか検討する。ああこれこれ、これがやりたくて医者になったんだよ。そんな 8 月でした。笑

面倒を見て下さった先生方には感謝してもしきれません。山田先生は毎日研修医室に来て今日は何する？大丈夫？と気を遣って下さいました。治療方針に困ったときもすぐに相談

しに行ってご迷惑をおかけしました。大野先生はもはや言うまでもなく内視鏡をその一挙一動から勉強させて頂きました。目をギラギラさせて先生の手元を見ていました。福田先生には内科的疾患に困ったときはいつでもすぐに相談に乗ってもらいました。院長先生には一緒に患者を持たせて頂く機会が多く勉強させて頂きました。判断の速さ、医師としての経験の多さ、患者を断らない気概、患者を受け持つ責任感に関しては憧れを感じると同時に自分もこうならなくてはと身を引き締めました。検査や手技をする時いつも電話で呼んで頂き勉強させて頂いたこと大変感謝しております。

病院のスタッフも優しい方ばかりで特に看護師さんは普段が大学病院の看護師さんと接しているので良い人ばかりでカルチャーショックでした。

色々なお店にも連れて行って下さりありがとうございました。美味しいものもたくさん食べられて最高に充実した2か月でした。また機会がありましたら是非お邪魔させて下さい。

先生方のさらなるご活躍とご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げます。